総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成29年度）

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　②ライフ・イノベーション分野（4/11）

	総合評価 （ⅠとⅡとⅢを1：1：2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 （柏市）	3.8	4.5 進捗度 ・各主体の参画による活動の活性化 106% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 395% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 98% 等	2.9 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業 等 地域独自の取組 ・事業推進に向けたプロジェクト連携会議の開催 等	3.8	・包括的アプローチの一つであるフレイル予防サポーターの育成等、新計画の取組も全体としては順調であると評価できる。 ・訪問リハビリテーション事業所を財政・税制・金融支援に頼ることなく、規制の特例措置によって立ち上げ、拡大していることは高く評価できる。 ・「地域の健康・介護」分野では依然として公民学連携が見えない。公民学いずれも優れたステークホルダーを有する柏市が今後最も注力すべきは、連携体制を構築することである。特に、特区事業所のリハビリ実施件数が伸び悩んでいることから、介護事業所による参加が十分展開されないことについて改善が必要である。 ・市独自の財政上の支援を行うなど、一層のバックアップを考慮されたい。